

5月 12-18日

格言 13章

34番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 大谷正 | 伊藤勇一

神の言葉の宝

1. 「悪人のランプ」に惑わされてはならない (10分) 長谷川貴史

悪人に将来はない。 (格 13:9。洞-2 353 ページ 7-8 節)

悪いことを良いことのように思わせる人たちと関わってはいけない。 (格 13:20。塔 12 7/15 12 ページ 3 節)

正しい人はエホバからの祝福を受ける。 (格 13:25。塔 04 7/15 31 ページ 6 節)



世の中の楽しそうに見えることを追求する人は、たいてい思っていたような幸せを得られない。エホバが望むことを行う人は充実した生活を送れる。

2. 宝石を探し出す (10分) 竹林直毅

格 13:24 むち(*懲らしめ/罰)を控える人は子供を憎んでいる。子供を愛する人は懲らしめを怠らない(if*すぐに懲らしめる)

この聖句から愛と懲らしめについてどんなことを学べるか。

(洞-1 13 ページ 4 節) 愛は誤導されることがある以上の中から、人は、神の靈と、み言葉からもたらされる知識とを求め、それらに従うことによってのみ、正しく方向づけられた眞の愛を得られることが分かります。例えば、親は自分の子供に対して愛情を抱くことでしょう。しかし、親はその愛の質を低下させ、あるいは感傷によって自らを惑わし、子供にすべてのものを与え、何物も拒まないかもしれません。その人は、懲らしめや、時には実際の懲罰を与える、親として

の権威を行使することを怠るかもしれません。 (箴 22:15) 自分ではそれが愛だと考えるかもしれませんが、そのような愛は実際には家族の誇りかもしれません。それは利己心にほかなりません。聖書によると、そのような人は愛ではなく憎しみを示しています。その人は、自分の子供の命を救う道を取ってはいないからです。—箴 13:24; 23:13, 14。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(格言 13:17 後...忠実な使節は癒やしを与える。) 宣教活動が人々を癒す惠まれた活動で、いかに忠実に携わる必要があるかを教えてくれる。靈的な癒しという言葉に注目して、聖書からできるだけ効果的に慰めとなる情報を伝え続けていきたい。

3. 聖書朗読 (4分) 格 13:1-17 (教励 第 10 課) 星拓哉

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 柴田まり子 愛込 2-5 奥村由美

(3分) 家から家で。タイムリーな話題で会話を始め、聖書から相手に役立つことを伝える。
(愛込 レッスン 2 ポイント 5)

5. 会話を始める 有田優子 愛込 2-3 萩原幸子

(4分) 日常生活で。集会に招待する。 (愛込 レッスン 2 ポイント 3)

6. 話 米山英行 教励 16

(5分) 愛込 付録 A ポイント 9 主題: 親を敬って言うことを聞く子供は幸せになれる。 (教励 第 16 課)

クリスチャンとして生活する

77 番の歌

7. 「正しい人の光は明るく輝[く]」 (8分) 討議。 水品安章

神の言葉には最高の知識や知恵が収められています。聖書から学んだことを当てはめるなら、物事はうまくいき、いつまでも幸せでいられます。ほかでは決して得られないものです。



「世にないもの(本当の愛)は、世から得られない」の動画を再生する。次の質問をする。

- ガイナンシナ姉妹の経験から、「正しい人の光」が「悪人のランプ」よりも優れていることがどのように分かる？（格 13:9 正しい人の光は明るく輝き、悪人のランプは消される。）

この世界での成功を夢見たり、エホバに仕えるためにした決定を後悔したりして時間を無駄にしてはいけません。（ヨハ一 2:15-17）これまで学んできた「知識に極めて大きな価値がある」ことをいつも忘れないようにしましょう。（フィリ 3:8 それどころか、主であるキリスト・イエスについての知識に極めて大きな価値があるので、ほかの何をもを損だと思っています。私はキリストのためにあらゆるものを失いましたが、そうしたものを多くのくず(*ごみ)のようだと思っています。）

家族の崇拜でやってみよう

「真理は人の生き方を変化させる」にある動画を1つか2つ定期的に見て、真理の大切さについて考える。

8. 会衆の必要（7分） 長谷川瑛一

9. 会衆の聖書研究（30分）徹 26章 9-17節 司会: 吉田忍 朗読: 伊藤勇一

閉会の言葉（3分） | 43番の歌と祈り 浮田蒼

^(格 13:1-25) 賢い子は父親のしつけ*を受け入れ、あざける人は叱責*を聞かない。2人は発する言葉によって良いものを受けれる。不誠実な人たちの欲望は暴力に向かう。3自分の口*を見張る人は自分の命を守り、唇を大きく聞く人は破滅する。4怠け者は欲しがるが何も得ず、勤勉な人は十分に満たされる*。5正しい人はうそを憎み、悪人たちの行動は恥と不名誉をもたらす。6正義は無実の人を保護し、悪は罪人を倒す。7裕福であるように見せ掛けて、何も持っていない人がいる。貧しいように見せ掛けて、多くの富を持っている人がいる。8裕福な人は命のために身代金*を支払うが、貧しい人は脅されることもない*。9正しい人の光は明るく輝き、悪人のランプは消される。10出過ぎたことをすると、争いが起きるだけである。助言を求める*人たちには知恵がある。11手っ取り早く得た*財産は減っていき、少しづつためる人の財産は増えていく。12期待がなかなか実現しないと落ち込むが、かなえられた望みは命の木である。13指示*を軽く見る人は罰を受け、おきてを尊重する人は報われる。14賢い人の教え*は命の源であり、人を死のわなから遠ざける。15鋭い洞察力は好感を持たれる。不誠実な人の道は過酷である。16聰明な人は知識によって行動し、愚かな人は愚かさをさらけ出す。17悪い使者は問題に陥る。忠実な使節は癒やしを与える。18指導を軽視する人は貧困と不名誉を経験し、矯正*を受け入れる人は称賛される。19人は望みがかなうと喜びを感じ、愚かな人は悪から遠ざかるのを嫌がる。20賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う。21罪人は災いに追われ、正しい人は報われて繁栄する。22善い人は孫の代にまで財産を残し、罪人の富は正しい人のために蓄えられる。23貧しい人たちの耕作地は多くの食物を生み出しが、不公正によって奪い去られることがある。24むち*を控える人は子供を憎んでいる。子供を愛する人は懲らしめを怠らない*。25正しい人は満足するまで食べるが、悪なたちは空腹である。

または、「訓練」。